

事業コード	03040411			政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略						
事業名	県産農畜水産物学校給食等活用緊急対策事業			施策コード	04	施策名	農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化						
				指標コード	04	施策目標(指標)名	G A P等による安全・安心対策の強化と環境保全型農業の推進						
部局名	農林水産部	課室名	農業経済課	班名			調整・六次産業化班	(tel)	1763	担当課長名	福田正人	担当者名	武蔵重満

評 価 対 象 事 業 (計 画) の 内 容

事業年度 令和02年度 ~ 令和02年度

1．事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、外食需要が大幅に落ち込み、一般家庭での消費に回らない高価格な農畜水産物や嗜好品等を中心に販売不振となっており、食材を供給する農林漁業者の経営に大きな打撃を与えている。このため、今後、比較的堅調な需要が見込まれる分野での消費拡大等により、販売価格を安定化させることが喫緊の課題となっている。

3．事業目的（どういう状態にしたいのか）
学校給食や高齢者施設で県産農畜水産物を活用することで、消費拡大を図り販売単価を下支えする。

(重点施策推進方針との関係) ● 重点事業として要望 ○ その他事業として要望

2．住民ニーズの状況
ニーズを把握した対象
■ 受益者 □ 一般県民 （時期： R02 年 04 月）
ニーズの把握の方法
□ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット
□ その他の手法 （具体的に)
ニーズの具体的内容

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた高級食材や嗜好品等の生産者及び流通業者等から販売促進対策や在庫対策が求められている。

4．目的達成のための方法
事業の実施主体 秋田牛ブランド推進協議会、秋田県漁業協同組合、森岳じゅんさい加工業者組合、全農秋田県本部
事業の対象者・団体 県産牛生産者、漁業者、じゅんさい生産者・加工業者、メロン・さくらんぼ生産者
達成のための手段
学校給食や高齢者施設での県産農畜水産物の活用に当たり、食材費等を助成する。

比較した代替手段及び選択した手段の有効性

学校給食への提供は国事業の補助対象となっており、国のスキームを活用した円滑な事業実施が見込まれるほか、食育の観点からも有意義である。また、小売店向け等と異なり、学校や高齢者施設での給食では、需要が一定のロットで安定していることから、販売価格の安定化には、より有効である。

把握していない場合の理由及び今後の方針	
理由	
今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源										単位(千円)
順位	事業内 記	左 の 説 明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画	
01	秋田牛活用促進事業	秋田牛等の活用促進に向けた学校給食向け食材への定額助成。	226,749	0	0	0	0	0	229,749	
02	水産物活用促進事業	水産物の活用促進に向けた学校給食向け食材への定額助成。	54,331	0	0	0	0	0	54,331	
03	地域特産物活用促進事業	地域特産物の活用促進に向けた学校給食向け食材への定額助成。	8,332	0	0	0	0	0	8,332	
04	高齢者施設での活用促進事業	農畜水産物の活用促進に向けた高齢者施設給食向け食材への定額助成。	10,507	0	0	0	0	0	10,507	
財源内 記		左 の 説 明	299,919	0	0	0	0	0	302,919	
国 庫 補 助 金		国産農林水産物等販売促進緊急対策事業	255,206	0	0	0	0	0	255,206	
県 債			0	0	0	0	0	0	0	
そ の 他			0	0	0	0	0	0	0	
一 般 財 源			44,713	0	0	0	0	0	47,713	

